

小学校の学校主事務の民間委託の効果・検証結果及び次年度以降の業務の進め方について

1 主旨

令和4年4月から開始した小学校の学校主事務の民間委託について業務の効果・検証を進めてきたが、このたび、効果・検証の結果及び今後の業務の進め方を取りまとめたので、報告する。

2 現状

(1) 学校主事の人員の状況

令和5年4月現在 学校主事正規職員116名（小学校等に配置）

※1校あたり、正規職員2人、会計年度任用職員3人（標準的な配置）

※今後、5年間で20名程度の退職者（再任用フルタイムを含む）が見込まれる。

(2) 学校主事の業務

1	環境整備業務	○管理諸室、トイレ、校舎敷地内・学校外回りの清掃 ○窓ガラス清掃、床ワックス塗布 ○校庭、学校外回りの除草、樹木剪定 など
2	管理修繕保守業務	○電気器具の保守・取替え ○ドア・床・門扉・柵、教材等の補修 ○校庭整備・散水、花壇・観察池整備 など
3	校務・庶務的業務	○来客受付・案内・安全確保 ○文書交換・郵便物の受領・配付 ○会議、学校行事等の準備、湯茶接待 など
4	施設管理業務	○各窓、扉の施錠管理・点検・修理及び鍵の管理・保管 ○消灯確認、火気類の状態確認及び処置 ○不法侵入者、挙動不審者、潜伏者等の発見処置など
5	学校安全・災害対策業務	○学校や区から要請があった場合に優先して実施する業務（安全パトロール、警戒態勢時の校門警備など） ○災害発生時や児童に事故があった場合の対応 など
6	児童の安全・擁護に関する業務（小学校特有の業務）	○交通安全誘導（立番） ○校外学習等への付き添い など

3 小学校の学校主事務の民間委託

(1) 委託の状況

令和4年4月～ 駒繫小学校、芦花小学校

令和5年4月～ 奥沢小学校

<参考：他区の状況>

23区中20区で順次委託を導入している。（令和5年度）

※委託を実施していない3区は中央区、荒川区、目黒区。

(2) 効果・検証

① 効果・検証の方法

業務の質の確保等の視点により、以下のとおり効果・検証を実施し、内容をまとめる。

- ・委託校に対する履行状況調査の実施並びに学校訪問による業務内容の確認等
- ・事業者、委託作業員の履行状況の確認
- ・児童、保護者等への意見聴取
- ・小学校特有の業務等とその対応
- ・緊急時の対応 等

② 効果・検証結果

効果・検証の視点	検証方法等	検証結果
業務の質の確保	校長による履行状況調査	◇令和4年度 ・駒繫小学校及び芦花小学校ともに総合評価が5段階の5の評価（優秀）であった。 ◇令和5年度 ・駒繫小学校及び芦花小学校ともに総合評価が5段階の5の評価（優秀）であった。 奥沢小学校は、総合評価が4（良好）であった。
	事業者への聴取	・学校の履行状況調査の結果を踏まえて、事業者にヒアリングを実施し、小学校特有の業務である交通安全誘導（立番）等に関しても、実施していることを確認した。委託事業者の業務の進め方においても、学校への配慮が十分感じられ、よりよくしていくという意識が強いことを確認した。
	児童、保護者等への聴取	◇意見聴取（令和4年度） ・児童約20名からの意見は、肯定的な意見であった。 学校関係者評価委員会や学校運営委員会において保護者、地域の方（約10名）からは、肯定的な意見であった。 ◇アンケート（令和5年度） ・児童、保護者、教職員の評価はいずれも高かった。 別紙参照（詳細は令和5年9月5日に報告済み）
	災害時等の緊急時の対応	◇緊急時の対応 業務が日常的な業務ではなく、緊急やむを得ない場合は、例外的に学校が作業員に直接指示をしても直ちに偽装請負にはならないことを法律の専門家に確認している。
	小学校特有の業務への対応	◇交通安全誘導（立番） ・委託を導入している区の中では、交通安全誘導（立番）をシルバー人材センターに委託している事例があるが、世田谷区では、これまでの業務のあり方を踏襲して、学校主事業務に従事する者が、この業務に従事する体制と

		<p>した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託前と同様に登校日の朝夕に交通安全誘導（立番）を実施できている。これまで事故の報告は受けていない。 ・児童の安全確保は最優先事項であるため、引き続き、学校や受託事業者とも連携して、委託前と変わらず、更に質を高めるよう努めていく。 <p>◇校外活動への付き添い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に役割分担をして、可能な範囲で委託前と同様に目的地までの途上等における交通安全誘導や目的地周辺における児童の出入りの確認をしている。
業務委託の手法	業務手法の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校特有の業務（交通安全誘導（立番）と校外活動への付き添い）についても業務委託が可能であり、その他の業務においても中学校における業務委託で実績があることから、業務委託が可能と判断できる。 ・平成24年 内閣府「地方公共団体の適正な請負（委託）事業推進のための手引き」に学校用務業務の効率的な実施方法の紹介がされている。 ・（仮称）新たな行政経営への移行プラン（骨子案）におけるアウトソーシング検討の考え方において、困難度や定型・非定型の度合いを考慮して、本業務は仕様書で詳細を明示しており、業務責任者を通じて業務の履行を指示する形態となっているなど、移行プランにおける「条件を満たせばアウトソーシング可能」に該当し、条件も満たしていると考えられる。
	偽装請負の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・新規委託校については、教育委員会、学校、受託事業者の3者で仕様書の読み合わせ（偽装請負の防止も含む）を行うなど、業務の引継ぎを円滑に行った上で、委託を開始するようにしている。 ・委託事業者の業務責任者と副校長とで週1回程度の打ち合わせを実施し、当該週で行う業務の確認や指示等を事前に行っている。 ・校長会等において、労働局等が作成した資料などを活用して、偽装請負に関する注意喚起を具体的に説明した。
経費	経費比較	<p>◇委託と区職員の人件費との経費比較</p> <p>給与（退職金含む）、共済費、交通費、期末手当等を含む人件費総額が、1校あたり年間約260万円程度、職員による業務よりも委託の方が低額となる。</p>
その他	児童への対応	<p>◇児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果では、自由意見において少数意見ではあるが、話す機会が減ったとの記述もあったが、主事(作業員)に対する感謝に関する記述が約87%を占めている。

<p>学校で働く一員としての意識</p>		<p>◇委託事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者選定においても、プロポーザル方式を採用しており、学校現場で業務を遂行する意味、意義等について、事業者を確認している。 ・委託校の校長からは、作業員はプロ意識が高く、学校で働く者の一員としての意識が感じられるとの意見があった。 <p>◇学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校の学校要覧などでは、教職員の紹介のほかに、委託事業者の作業員も紹介をされている。
----------------------	--	---

(2) 効果・検証を踏まえた総括

① 民間委託のメリット・デメリット

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容を実態に合わせて仕様書で設定することができ、職員の配置数や勤務の時間帯など区職員よりも柔軟な対応が可能である。 ・民間のノウハウや資源を活用することにより、業務の質の向上を図ることができる。 (例：剪定や高所の窓ふきなどは専門の部隊が担うことで、職員よりもより専門的な対応ができる。) ・職員の人事・サービス管理が不要となり、校長・副校長の業務負担の軽減につながっている。 ・急な欠員等の対応ができる。 ・業務委託を推進することで職員数を抑制し、人件費の削減を図ることができ、トータルコストでは、民間委託に優位性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校長等の作業員に対する直接の指揮命令権がない。 ・委託の作業員が担えない業務もある。(例：勤務時間外に及ぶ校外学習の付き添いなど) ・仕様書外の事項は協議等を要するため、迅速な対応が困難な場合がある。 ・現在は事業者選定において10以上の事業者が応募する状態であるが、全国的に人材不足であるため、今後も継続的に事業者の確保が課題である。

② 教育委員会の評価、総括

◆業務実績に関する評価

委託開始後の業務の実施状況は良好であり、学校、教職員の評価が高い。小学校特有の業務についても、委託前と同程度に実施できている。作業員に対する評価も高く、児童、保護者や地域の方からは肯定的な意見が多数を占めていることから、教育委員会としても業務委託は有効な手法であると考えます。

◆児童を第一に考えた業務のあり方に関する評価

学齢期が低い子どもたちの学びの場である小学校の学校主事業務の担い手は、職員か委託かを問わず学校で働く者の一員の中に含まれるものと考えている。一方で、業務委託という性質や事故防止の観点で事業者の作業員が児童との距離を一定程度とることはやむを得ないことと考える。これは職員においても同様に児童との距離は意識しながら日々の職務に従事している。そのような中でも、日頃の業務委託において、委託校の校長が評価している作業員の意識の高さなども含めて業務の質の確保ができていることや、職員と同様に交通安全誘導（立番）などの業務を通して実際に児童への見守りをしていること、今年度実施し

たアンケート結果を考慮すると、学校主事業務に関しては、委託による児童への影響は少ないと考える。

◆業務委託と職員による業務との比較

令和5年4月から委託を開始した奥沢小学校の児童、保護者、教職員へのアンケートは、同年6月に実施したことから、委託開始の前後を知っている多くの方が回答している。奥沢小学校のアンケート結果の中には、職員の方が良かったとの意見は一部あったものの、現在の業務委託に関する肯定的な意見が多かった。

◆総括

これまでの効果・検証により、業務委託の有効性を確認した。これを踏まえ、委託によるメリットの面だけでなくデメリットに挙げた内容についても念頭におき、児童や学校への影響もないように最大限配慮しながら、よりよい業務を目指して実績を積み重ねて、今後も委託の導入を継続していくことが適当である。

4 次年度以降の業務の進め方

(1) 次年度以降の業務の進め方

- ① 今後、効果・検証を行いながら委託の導入を継続するものとする。
- ② 委託校数や委託校は、地域性、規模、学校事情なども考慮しながら、学校主事の人事に影響しないよう年度ごとに決めるものとする。

(2) 令和6年度の委託予定

- ① 令和6年度新規委託予定校
東玉川小学校、塚戸小学校、希望丘小学校
- ② 令和6年度の新規委託校等のための事業者選定
新規委託校3校のほかに、本事業者選定において既委託校(小学校1校及び中学校8校)の委託事業者の選定を含めて、事業者選定委員会にて事業者選定を実施する。

5 今後のスケジュール(予定)

令和5年	11月	事業者選定開始
令和6年	1月	委託事業者決定
	2～3月	新規委託校における委託準備、引継ぎ、事前研修等実施
	4月	新規委託校の委託開始
		引き続き、効果・検証を継続

I 調査概要

1 調査目的

令和5年度には委託校が1校加わり、3校で委託をしているが、その業務の履行状況を児童、保護者、教職員を対象として改めてアンケート調査を実施することで、その効果・検証をするものである。

2 調査対象

(1)実施校

小学校の学校主事務の民間委託を実施している
3小学校(駒繫小学校、芦花小学校、奥沢小学校)

(2)対象者

児童:3年生~6年生

保護者:全学年の保護者

教職員:各学校の常勤の教職員(主幹教諭、指導教諭、主任教諭、教諭、養護教諭、栄養士、事務職員)

(3)調査内容

- ・受託事業者の作業員の接遇(あいさつ)の状況
- ・作業員が実施する児童の安全・擁護に関する業務、環境整備業務、管理修繕保守業務、校務・庶務的業務、学校安全・災害対策業務の状況
- ・業務、作業員に関する意見

3 調査期間

令和5年6月15日(木)から6月29日(木)まで

4 回答方法

アンケートフォームを活用し、オンラインにより回答

5 回答数

3校合計で児童は814人(61.2%)、保護者は678人、教職員は81人が回答。

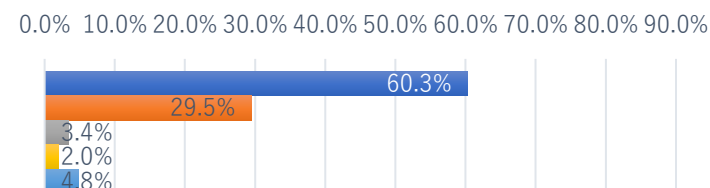
II 調査結果(児童)

1 児童編

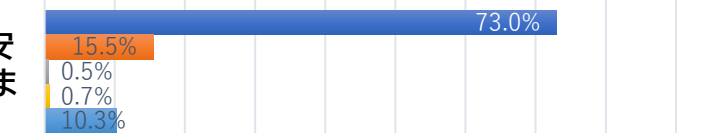
小学校の学校主事務における受託事業者の作業員のあいさつ、環境整備業務や児童の安全・擁護に関する業務等についての設問及び業務に関する自由意見を児童にアンケートで聴取した。受託事業者の作業員のあいさつ、交通安全誘導、校舎内外の清掃状況は、概ねできているとの回答が多かった。

児童のアンケート結果

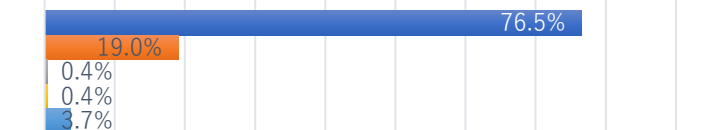
学校内で主事さんは皆さんとあいさつをしていますか。



学校の近くの横断歩道では、主事さんが安全に横断できるように誘導してくれていますか。



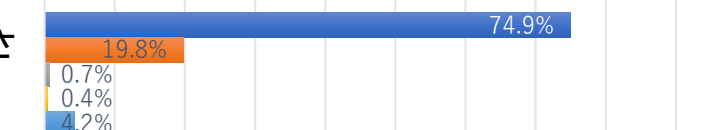
学校内の昇降口や校門周辺はきれいに掃除されていますか。



学校内のトイレはきれいに掃除されていますか。



グラウンドや校舎の周りはきれいに掃除されていますか。



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ わからない

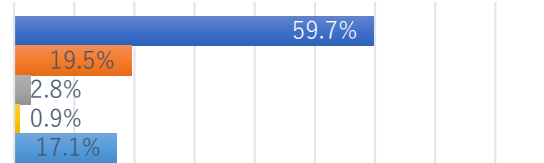
II 調査結果(保護者)

児童のアンケートと同様の設問及び業務に関する自由意見を保護者にアンケートで聴取した。受託事業者の作業員のあいさつ、交通安全誘導、校舎内外の清掃状況は、概ねできているとの回答が多かった。

保護者のアンケート結果

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0%

学校内で学校主事は皆さんとあいさつをしていますか。



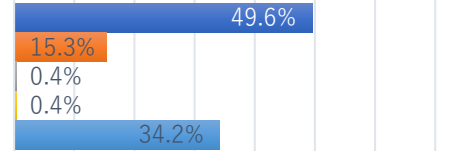
登下校時の交通安全誘導(旗振り)において、学校主事が児童を安全に横断歩道を横断できるように誘導していますか。



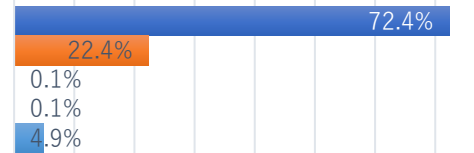
学校内の昇降口や校門周辺はきれいに掃除されていますか。



学校内のトイレはきれいに掃除されていますか。



グラウンドや校舎の周りはきれいに掃除されていますか。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- わからない

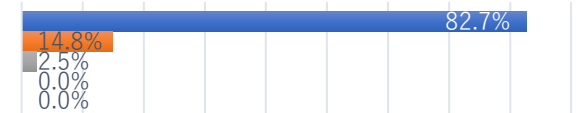
II 調査結果(教職員)

児童や保護者のアンケートの設問に管理修繕保守業務、校務・庶務的業務、学校安全・災害対策業務を加えた8問及び業務に関する自由意見を教職員にアンケートで聴取した。受託事業者の作業員のあいさつをはじめいずれの設問に対して、概ねできているとの回答が多かった。

教職員のアンケート結果

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

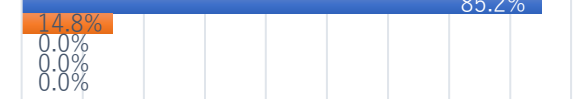
学校内で学校主事は皆さんとあいさつをしていますか。



登下校時の交通安全誘導(旗振り)において、学校主事が児童を安全に横断歩道を横断できるように誘導していますか。



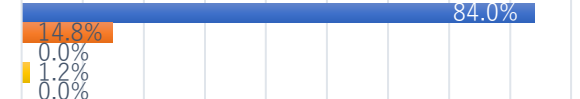
学校内の昇降口や校門周辺はきれいに掃除されていますか。



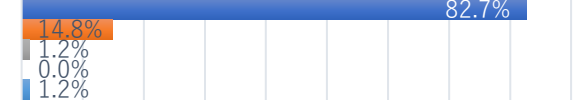
学校内のトイレはきれいに掃除されていますか。



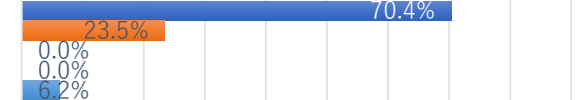
グラウンドや校舎の周りはきれいに掃除されていますか。



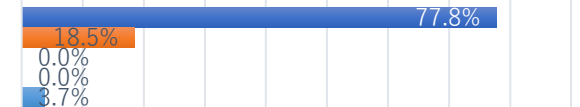
校舎内の蛍光灯やドアなどの不備があれば、すぐに補修等がされていますか。



来校者の対応は適切にできていますか。



児童に事故等(救急搬送や嘔吐があった場合など)があった場合に、適切に対応できていますか。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- わからない